

中里小学校 学校だより

# おおくす

令和6年7月12日

第6号

文責 大石泰文

学校教育目標：夢をもち、みんなと共に生きる子どもの育成～中里仲良し(共に学び、共に育つ)～

## 「うちの子、最高！」

7月6日(土)に市P連北部ブロックPTA親善大会が小佐々地区コミュニティーセンターで開催されました。

オープニングは「ブラスシューデ」(中里・皆瀬・相浦西小合同の金管バンド)のコンサートです。参観者を圧倒する見事な演奏で会場が大変盛り上がりしました。



中里小学校からは、5年生のジョーダン大和さん、深町茉央さん、佐々木乃杏さん、3年生の北原すずさんが参加しています。ブラスシューデの皆さんは、地区の自治協議会まつり等でも積極的に演奏されていますので、ぜひその素晴らしい演奏を体感されてみてください。

その後、幼児教育専門家の熊丸みつ子先生の講演会が行われました。演題は「うちの子、最高! 子どもたちに伝えたい! 親として、おとなとして、地域として」。ひとつひとつの言葉が大変心に残る講演会でした。その言葉をいくつかご紹介します。

○子どもたちは、子ども時代に手間暇かけて育てられるようになっている。子どものやることは全部生きる力になる。子どもの時に粗末に育てられたら、大切なものが育たない。子どもというのは、1回言っても分からないもの。「何回言ったら分かるの?」と大人は言う。何回も伝えて愛していく。子どもは、いつかきっと分かる。

○地域のおじいちゃんおばあちゃんは、財産です。いい意味での子どもの抜け道になる。いい意味で子育てに責任がない。このような抜け道は、子どもたちに必要。今の子どもたちはがんじがらめになっている。そういう大人が絶対に必要。また、人の中で人は育っていく。学校だけ家庭だけでは、子どもは育たない。

○「何で生んだの?」絶対に言ってはいけない言葉。「生まなきゃ良かった。」絶対に言ってはいけない

い言葉。子どもは、「お母さんお父さん幸せになるよ。」と言って生まれてきた。

○人は、もらったものしか出せない。(愛されて育ったことなど)

○子どもたちに3つのことを知ってほしい。

- ① お父さんは、3億近い「いのち」からあなたを選んだ。
- ② お母さんは、自分の「いのち」に代えてあなたを産もうとした。
- ③ あなたは、幸せになるために生まれてきた。



○自分を大事にする人は、人を大事にする。

○子どもたちに伝えたい。あなたとあなたは違う。人と比べなくていい。自分の1年前と比べること。

○お父さん、お母さん、そして子どもたち。イライラするのは子育てが順調な証拠です!

## 子どもたちの困り感、子育ての困り感ありませんか？

いよいよ1学期も終わりに近づきました。子どもたちの1学期の様子はいかがだったでしょうか。

中里小学校には、子どもたちの困り感、子育ての困り感に寄り添える心強いスクールカウンセラー 本山修先生がいます。本校2年目で、子ども・保護者を問わずかなりの方が繰り返し活用されています。もちろん無料で利用できます。

カウンセリングの方法は、お子さんだけでも可能ですし、保護者の方だけでも可能ですし、親子でも大丈夫です。実施している曜日は金曜日ですが、週によって午前になったり午後になったりします。

関心を持たれた方は、学級担任もしくは中里小学校(47-2204)までご連絡ください。

カウンセリング以外にも、佐世保市には子育てを支援する窓口がたくさんあります。

代表的なものは、たとえば

佐世保市子ども子育て応援センター TEL 25-9705

佐世保市子ども発達センター TEL 23-3945

佐世保市青少年教育センター TEL 22-0781 などです。



それぞれ役割が違いますが、まずは、相談することを通して、より適切な窓口につなげていただけます。

今は、核家族化が進み、コロナ禍を経て地域とのつながりも薄くなっています。子育てがどうしても孤立しがちです。近所に親しく話ができる方がいない、という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。言葉に出して誰かと話すだけでも考えが整理され随分スッキリすることも多いものです。

どうぞ、お一人で抱え込まず、利用できるものはどんどん利用されてください。